

二〇一九年度 A—I 選考

国語
その一

(設問の都合上、原文の表記を一部改めたところがあります。)

洗濯は、水路の水をくんで家の裏の洗い場へ運び、そこで洗つた。食器同じように裏で洗い、汚れた水はためておいて肥料として烟にまいたか、洗濯物や食器を洗つた水が水路を汚す心配はまったくなかつた。

（町の人々すへてか）水に気を遣い手間を惜しまずには自分たちの才を大切にしていた間は、水路の水が流れつく先の琵琶湖の水も澄んでいた。ところが、住民が増えて生活排水が川に流れるようになると、②琵琶湖に赤潮が発生するようになつてしまつた。

江戸時代どころかほんの四十年前までは、気遣いと手間だけ、つまり太陽エネルギーだけで^aギヨウ^bな水を守つていられた。そのための特別なソウチモエネルギーも使わずに、澄みきった水が水路に流れ、琵琶湖に注いでいたのだ。

と、なぜか水が汚れ始めた。理屈の上では、より高度の文明状態に達したのだから、水はもつときれいになつて当然なのに、⁽³⁾そうはなかつた。その理由は、カントンで、電力やモーターや石油エンジンを使えば、桁違いの、感覚的には無限大といつていいくほど大きな力を出すことができるからである。

大きな力が使えれば、大量のdシゲンを処理して大量の物質を製造することができる。製造するのは、I需要があるからで、できたものは工場を出でて、II消費者の間に出現り、いずれは固体、液体、気体などさまざまな形の廃棄物となることは、ここ四十年ほどの間にいやというほど見えてきた通りだ。

今この間で、二生じまに氣を費して用語をひなばう事うして、

「いの間までは、こまごまと気を遣つて手間をかねながら暮らしてい
た人も、スイッチを押すだけで面倒な仕事を片づけてくれる機械が自分に
も買える値段になれば、喜んでそちらへ切り換えて、「ああ、便利な世の
中になつたものだ」と感心する。私自身、その一人だったからよくわかる
が、同じ状況になればもう一度同じことをしそうだ。今の生活は、なるべ
くしてこうなつたので、今さら引き返すことはできないのである。

人の手間で生きていた当時は、特別なことをしなくとも、（B）、し
なかつたからこそ何百年にもわたつてほぼ安定した環境を保つていた。と
ころが、いつたん環境の汚染が始まると、回復するのに膨大な時間と経費
とエネルギーが必要で、（C）もとの状態に戻すことはまずできない。
汚すのにもエネルギーを使つて、というより、膨大なエネルギーを
使うから汚染が始まることであり、それを取り除くのにまたエネルギーを使
うのだから、これほど⁽⁴⁾ばかりではない。現代文明に首から頭までど
っぷり漬かった生活をして、その恩恵を充分に受けて暮らしながらこんな
ことをいうのはまことに申しわけないが、どうやら現代文明は構造的に破

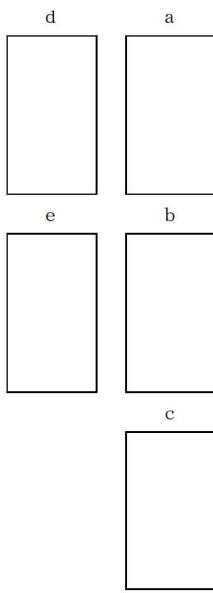
減型なのであるまい。

洗濯のようむだな作業に時間をかけず、自動式の電気洗濯機を使って余った時間をより有用で、高尚なビジネスや趣味、芸術のために使えば、人類がさらには発展する、という理論はわかりやすく、そういう発想のもとに文明が大發展した。

だが、人間は、物質的に豊かでひまになればなるほど精神的にも向上するほど立派な動物でないことが次第にわかつてきた。文明の發展に、ヘイコウして、それまでは考えもしなかつたようなややこしい社会問題が次々に起り始めたからだ。豊かなエネルギーは、水や空気だけではなく人間も汚染するのだ。

※高尚・学問・言行などの程度が高く、上品なこと。
（石川英輔「大江戸えころじー事情」）

問1　|| a | e のカタカナを漢字に直しなさい。



問2　—I・IIの対義語として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

問3 (A)～(C)に入る語として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ウ つまり
エ オ ところが
あるいは カ ウ しかも

The image consists of three separate, empty square boxes arranged vertically. The top box is labeled 'A' in the upper right corner. The middle box is labeled 'B' in the upper right corner. The bottom box is labeled 'C' in the upper right corner.

問4 ①「町の人々すべてが、水に気を遣い手間を惜しまず自分たちの水を大切にしていた」とあります。そのことがわかる箇所を、本文中から二十一字で抜き出して答えなさい。

問5 一②「琵琶湖に赤潮が発生するようになつてしまつた」とあります
が、その原因としてどのようなことが挙げられていますか。本文中の語
を用いて答えなさい。

問6 ③ 「そうはならなかつた」について答えなさい。

(1) 「そうはならなかつた」とは、どう「う」ことですか。「そう」の内容を明らかにして答えなさい。

(2) 「そうはならなかつた」とあります、それはどうしてですか。本文中の語を用いて四十字以内でわかりやすく答えなさい。

二〇一九年度 A—I選考

国語 その一一

問7 —④「ばかりたこと」とは何を指しますか。次から選び、記号で答えなさい。

ア スイッチを押すだけで面倒な仕事を片づけてくれる機械があるのに、手間をかけること。

イ 特別なことをしなくても、何百年にもわたってほぼ安定した環境を保っていたこと。

ウ 汚染するのにも汚染を取り除くのにもエネルギーを使うこと。

エ 物質的に豊かでひまになつても、人間は精神的には向上しないこと。



問8 この文章で筆者が最も述べたかったこととして適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 人が精神的に向上するためには、物質的に豊かになることである。

イ 高度な文明社会になれば、ややこしい問題が起るのは当然のことだ。

ウ 豊かなエネルギーによって、環境だけではなく人間まで汚染された。

エ 現代文明にどっぷり漬かっているとありがたみを感じなくなる。



□ 次の文を読み、あととの問い合わせに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかっこなどの記号も字数として数えます。

(設問の都合上、原文の表記を一部改めたところがあります。)

さつきは転校先の学校で、同級生の理子に誘われてスキージャンプを始める。さつきはみるとうちに力をつけ、初めての大会で、一位の理子、二位の甲斐選手に続く三位となつた。次は三回目の大会の場面である。

「そうだよね、理子。ありがとう。行ってくる」
板を肩に抱ぐさつきの背が、(B)と伸びた。その後ろ姿に、理子は微笑む。

(今日はどんなジャンプをするんだろう)
さつきが入団したころ—それこそハメートルや二十六メートルの台で練習していたころは、そう思う心の中に、『楽しみ』しかなかつた。
(でも今は違う)

「ねえ、理子さん」

話しかけてきたのは、理子の前に飛ぶ甲斐選手だった。「あの室井さつきさんって、本当にジャンプやり始めてから、七ヶ月くらいしか経つないの?」
降り注ぐ盛夏の日差しにも、甲斐選手の顔はどこなく暗く、おびえているようにも見えた。

「そう。去年の十二月から始めたばかり」
肯定すると、①甲斐選手は右手の親指の爪をかんだ。

「そなんなんだ……」

また一人選手がアプローチを滑り降りていく。十六メーターワークというアウェンスと、独特的のファンファーレみたいな音楽が響き渡る。

「本当は、ひそかにやっていたとかじゃないの?」
ジャンプは個人で挑める競技とは違う。やるならどこかの少年団に所属するはずだ。

「それはないと思う。さつきは転校生で、それまではこの札幌市で暮らしていたの。札幌市の少年団にさつきはいた?」
「うちはいなかつた。うん……頭ではわかつていたんだ。大会でも見たことないし」

ことに女の子の場合、スキージャンプはメジャースポーツとは言い難い。

競技人口が少ないために、選手は本州のチームにいようと大体顔見知りなのだ。この札幌市の大会にも、東北や長野から選手が来ている。逆にスケジュールと予算の範囲内で、沢北町ジャンプ少年団の子どもたちが本州の大会に遠征することだつてある。

『十三番 室井さつき選手 沢北町ジャンプ少年団』

(さつきの出番だ)
理子はスタートゲートに出てきた少女の姿を、一心に見つめる。ゲートに座った状態で、一度大きく深呼吸したのがわかつた。

理子の首筋を、風が(C)と吹き抜けた。
同時に、さつきはゲートからスタートした。※アプローチを滑り降りるスピードは一瞬ごとに上昇し、(D)、という音が理子の耳に残った次には、さつきはもうカンテから飛び出すところだつた。

④今までに飛んだ誰より、接地の音は遅く届いた。
『二十一メーター』

どうめいたのは、※ランディングバーン周辺にいる観客だけではなかつた。アプローチ脇で待機している理子たち選手も、記録のアナウンスを聞いてざわめいた。

「すごいね、今日も二十メートル越えたよ」
興奮した声で、順番を待つ選手の誰かがそう言つた。

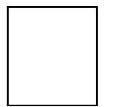
甲斐選手がまた爪をかんだのを、さらにはその手が震えているのを、理子は見ないふりをした。

(乾ルカ「向かい風で飛べ！」)

※アプローチ・ジャンプ台のスタートゲートからカンテまでの助走路。
※カンテ・ジャンプ台の先端にある踏み切り台。
※ランディングバーン：着地後の滑走路。

問1 (A)～(D)に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ
ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ
ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ
ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ
ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ



問2 この文章の季節はいつか。季節を表す言葉を文章中から一語で抜き出しなさい。



問3 —①「甲斐選手は右手の親指の爪をかんだ」とあるが、このときの甲斐選手の気持ちとして適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ジャンプを始めて間もないのに、自分よりも理子と親しく話しているさつきに嫉妬している。
イ 理子からさつきについての情報を聞き出そうとしたが、理子が本当のことを言わないのでいらだつていて。
ウ 短期間で選手として成長しているさつきの存在を強く意識し、試合で競い合うことに不安を感じている。
エ 自分の出番が迫ってきて緊張していることを理子に気付かれないと隠そうとしている。



二〇一九年度 A—I選考

国語 その三

問4 ① (2) に入る言葉として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア にっこりと微笑んだ イ 首を横に振った
ウ そつと目をそらした エ 手で耳を覆った

- (1) 甲斐選手はどのようなことをわかつっていましたか。次の文の空欄にあてはまる語句を、本文中から抜き出して答えなさい。

問5 ③ 「頭ではわかつっていた」について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 甲斐選手はどのようなことをわかつっていましたか。次の文の空欄にあてはまる語句を、本文中から抜き出して答えなさい。

- ・(三字) が、ジャンプを(六字)であること。

問6 ④ 「今までに飛んだ誰より、接地の音は遅く届いた」とはどのようなことを表しているか、三十字以内で答えなさい。

- ア どうしても信じられない。
イ 本当かどうか疑わしい。
ウ やっぱり思つたとおりだった。

- (2) この言葉に込められた甲斐選手の気持ちとして適當なものを次から選び、記号で答えなさい。

問8 この文章の特徴について、誤つているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 実際に話している言葉と、心の中で思ったことを、記号を使って区別している。
イ 言葉や表情だけでなく、動作にも登場人物の心情が細かく表現されている。
ウ 試合の進む様子が聴覚的な表現で描写されている。
エ 場面を転換するときには日差しや風といった情景描写を効果的に用いている。

- (1) 先生、明日は何時に学校に来ますか。
わたしは、佐藤大輔と言います。

- おいしくて全部食べてしましました。
母が留守なので、わたしが代わりに聞きます。
あの映画はみましたか。

問9 次の各文の傍線部について、正しい敬語表現に直しなさい。

- 1 先生、明日は何時に学校に来ますか。
わたしは、佐藤大輔と言います。

- 2 おいしくて全部食べてしましました。

- 3 母が留守なので、わたしが代わりに聞きます。

- 4 あの映画はみましたか。

四 次の各文の傍線部について、正しい言い方であれば○を、誤つているものは正しい言い方を記しなさい。

問7 ⑤ 「理子は見ないふりをした」のはなぜですか。「プレッシャー」という語句を用いて、五十字以内で答えなさい。

- 1 あの草刈り機を使えば、芝も刈れる。
2 数が足りないので、みんなで分けれ
3 いるものは正しい言い方を記します。
4 このカメラなら、子どもでも簡単に写せます。
5 人ごみの中で友だちを見つけるだろうか。
シヤツくなら、自分で洗える。